



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報

No.149 2012年6月12日 支部長 緒方智子

今年は、我が家のゴミが大豊作、昨年までは小鳥との競争に負けて、渋いあまさを十分味わえずに口惜しく思っていたのですが、今年は競争相手なしでゴミは実を地面にたくさん落下させて季節の終わりを迎えています。そういえば、朝夕に庭の草引きをしても蚊に刺されることがありません。蜂の羽音を聞きながらゆっくり庭の草引きをする「しあわせなひととき」を噛みしめながら、田舎に鳥がいない、虫がいない状況を素直に喜んでいいのやらと自問しつつ過ごしている今日この頃ですが、みなさまの地域ではいかがでしょうか。

昨年からの懸案であった「訪韓プロジェクト」が成功裏に終了しました。ご参加のみなさま、それぞれにさまざまな実りを得られ、貴重な体験をなさったようで嬉しく思っています。

今回参加されなかった方もまた、次の機会にご検討ください。

今回の会報は訪韓特集です。

- 1 サーバス九州訪韓報告  
概要・参加者からの報告（宮崎・長崎・大分・熊本・福岡・佐賀）  
\*\*参加者には続編と会計報告をお届けいたします)
- 2 秋例会の予定
- 3 サーバス九州の現況
- 4 サーバス九州からのお願い

## 1. サーバス九州訪韓報告

概要は以下の通りです。

時： 2012年5月24日（木）～27日（日）

訪問地：釜山・麗水（ヨス）・順天（スンチョン）

内容： 5月24日 ビートルで釜山へ・釜山自由行動・釜山泊  
5月25日 麗水万博見学・順天で地元会員と交流・順天泊  
5月26日 順天市内見学（民俗村・順天干潟）釜山サーバス宅に分宿  
5月27日 午前中自由・午後コビーで帰国

費用： 一人48,000円。残額は日本サーバスの被災者支援プロジェクトに寄付

参加者：20人  
(内訳) 福岡：3、佐賀：2、長崎：3、大分：3、熊本：3、  
宮崎：5、山口：1

## お世話になりました！

今回の訪韓では韓国サーバスのみなさんにことばに尽くせないほどお世話になりました。準備に深くかかわってくださった O 元韓国サーバス会長、準備の段階から私たちが滞在した 4 日間をしっかりと世話いただいた現釜山支部長の C さん、そして 3 日間を同行してくださった S さん、スンチョンの支部長さんご夫妻、その他大勢の会員の方々のサポートで無事今回の訪韓プロジェクトを終了することができました。

今までに会員のみなさまが自宅に受け入れてくださった韓国サーバスのメンバーたちの支えも忘れられません。緊急の時の支援、どれほどありがたかったことか。感謝でいっぱいです。

近くて遠い国と称されてきた日韓が、サーバスを通して、文字通りご近所の親しい国として、草の根の交流を深め、お互いの平和構築に貢献していくための確かな一歩を私たちは踏み出していることを確認しあえたらいいなと思います。

ご参加のみなさんには自称テンポラリーツアーコンにいろいろご協力いただき、ありがとうございました。思い出に残る貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました！

最後になりましたが、O さんの体調が十分でないとお聞きし心を痛めています。1 日も早く回復されますようお祈りするとともに、韓国サーバスのみなさまに心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました！

サーバス九州支部長 緒方 智子

<以下に参加者に寄せていただきました旅日記・感想を各県 1 篇ずつを紹介いたします。訪韓の雰囲気味わってください。><ご参加のみなさんには続編と会計報告を添付しています。>

## 麗水（ヨス）万国博覧会と釜山・順天（スンチョン）サーバス旅行

宮崎 A 会員

今年の初めから支部長が精力的に準備を進められた「釜山サーバス旅行」です。

九州各県から 5 組の夫妻を交えて 20 名の参加でした。5 月 23 日 9 時に福岡国際港に集合して乗船手続きを担当の方で全部済ませていただき、通関手続きも飛行機に比べると簡単でした。ビートル高速船は飛行機なみにしっかりとシートベルトを締めて福岡釜山間 200 キロメートル強を 3 時間で飛ばしました。釜山港からホテルは歩いても行ける距離だと云うことで、歩いて出発した人もいましたが、我々は送迎バスに乗り「フェニックスホテル」ロビーで連絡や現地サーバスの方々との挨拶をして 2 時に各自部屋に分かれました。3 時にまだ食事していなかったので観光を兼ねてホテルから出ました。付近は賑やかな南浦洞地区で国際市場やチャガルチ魚市場をぞろぞろと歩きました。初めての方も地区を知り尽くした方も楽しそうに。各自で夕食を済ませて、ホテルへ戻ると、急病で救急病院に搬送された方が出て、みなさんが心配そうにされていましたが幸い退院されて戻ってこられました。

2 日目は本日の目的地まで約 4 時間ほどかかり博覧会の影響で混雑も予想されることから、朝食は弁当を準備していただき、早朝 7 時に出発でした。この日も韓国サーバスの方が早朝から同乗していただきました。いくつも高速道路を通過し、トイレ休憩を取りながらの長旅でしたが、車内で自己紹介や説明、にわか韓国語講座などで時間が有効に活用できました。10 時 40 分ごろヨス博覧会場に到着。お天気に恵まれて会場はそういった混雑具合です。団体は入場予約が取れるので担当の方がオーシャン館 12 時、テーマ館 16 時を事前に予約し、その間は三々五々グループに分かれて広い会場を回りました。

テーマが水資源を大切に、各ブースは大型スクリーンを使った展示が目立ちます。

スウェーデン館で国王の等身大写真と並んで撮影したり、体操のアクロバットを見たり入館記念バッジを貰ったりして充分楽しみ、18 時に全員無事バスに集合できました。

順天市のサーバス会員との交流会場に着了ら、予想より多くの会員の方々がお見えになりました。各テーブルで韓国語、日本語、英語まじりの賑やかな交流会でした。9 時に終了となり、

バスで 今夜の宿泊場所である順天市のモーターへ移動しました。こじんまりした清潔なホテルで、部屋からの市街地の夜景がきれいでした。

3日目も穏やかな朝を迎え、ホテル玄関からバスで近くの韓国料理店に向かいます。市役所の担当の方が案内に添乗してもらいました。パンフレットやDVDなど順天市の観光案内資料もいただきました。この日の午前中は古民家の集落が今も人々の生活に使われていて映画の撮影場所にも利用されている楽安邑城に向かいました。丁度撮影隊が来ていましたがお目当ての韓流スターは見当たりません。役所跡や映画撮影の記念跡などの土城の内側を歩きました、わら葺の古民家は今も住居として人々が暮らしています。楽安邑城をお昼前に出発して途中昼食レストランで韓国料理をいただきました。地元の有名店で多くの車が入ってきます。しばらく走ると順天自然生態館に到着しました。前の楽安邑城も生態館も市役所の担当の方の計らいで入場無料でした。ここは順天湾にそった葦原の散策路が広がり自然環境が護られた広大な施設でした。遊覧船で楽しまれた方やスケッチをした人もありました。園内周回自動車も走っていました。

ここでサプライズ、バスのところに昨夜の交流会のTさんご夫婦が駆けつけてミカン一箱をおみやげに持ってきていただきました。最後に案内されたのは来年2013年4月から開かれる予定の順天湾国際庭園博覧会の工事現場で、今は入れないところを特別に入場を許可されて、降車して担当者の説明と、バスで園内1周し、丁寧な説明を受けました。1日添乗して説明をしていただいた地元のサーバスの方や市の担当者の方々はここで全員下車され、私たちは釜山サーバス会員との夕食交流会場へ向かいました。

会場のレストランで、2日間お世話になった運転手とバスにお別れして、会場の2階に入ると釜山のサーバス会員の方々が待機されていました。今夜お世話になるホームステイホストと同じテーブルに着き、支部長さんの挨拶のあと乾杯。韓国料理をつつき朝稲サーバスメンバーのクイズ抽選などで9時にお開きとなりました。あとは今晚の8軒のホームステイ先へ分かれて解散、明日午後2時半の釜山港集合まで皆さんホームステイを楽しまれることになります。ここからはそれぞれですが、私たちは30分ほど走り、梵魚寺のある高台の東菜地区へ到着しました。25階のマンションが林立する風景は圧巻でしたが、部屋から外を見ると目の前にそびえる建物に遮られて風景はなしでした。奥さまは高校の先生でアメリカ女性の英語の先生が1年間ホームステイしていましたし、大学生の息子さんも週末にはソウルから帰省して、合計6人で賑やかな時間が過ごせました。

最後の日はステイ先の公園を散歩していたら、頭上の窓からNさんが「おはよー」と手を振っていました。上がり込んでしばらく話しました。偶然でした。その後車で梵魚寺に行き仏様の祝日前日の賑やかな寺院ないをガイドさんの案内付きで回りました。再び戻り6人で賑やかな昼食の後皆さんにお別れして、ベントで国際港へ送ってもらいました。皆さん昨夜からの体験を楽しそうに語り合いました。帰りは高速船コビーで6時40分に博多港に到着。解散の挨拶後それぞれ帰途につきました。本当に楽しいサーバス旅行でした。

## 訪韓記

長崎 H会員

2012年5月24日から27日まで4日間、私たち20名はよく歩いた旅であった。皆さん、あまり若いとは言えない人たちののに、サーバスのゲストとして世界を歩き回って、身体を鍛えていらっしやるのだと感心しました。中味も濃かったですね。

博多からビートルに乗って釜山に1時に着いて、迎えのバスでホテル・フィニックスに荷物を置いて、後は自由行動。

どなたも行ったのはチャガルチ市場。私は20年も前から行っていますが、何度行っても度肝

を抜かれます。100メートルはある海岸に沿った道路の両側には生の魚が並んでいる。今日中にこれだけの量が売れなければ、後は腐るだろうにと心配するほどの量であった。韓国は活気がある。

ホテルの裏の南浦洞の道の真ん中に並ぶ屋台の風景は昔と変わっていなかった。売っている食べ物も20年前とほとんど変わらない。



2日目は、ピンクでハデハデに内装したバスに乗って麗水（ヨス）の海洋万博会場に行った。元々、これを見るのが今度の旅のメインであった。入場者は多く、農村部から出てきたらしいオモニやアボジが多かった。若い人も多かったが、見かけだけで言うと、韓国は世代間ギャップが大きい。若い人たちは、東京の街を歩かせたら日本人と見分けはつかない。

この万博は世界各国がお国自慢をする場のようにであった。日本館も見たが、正直言って、しらしらしかった。漁業は衰退を続けているのに、大漁の場面で海洋国家を強調していた。

大国はどこも入場者が多く、長い列が出来ていたが、アラブやアフリカの発展途上国はそうでもなかったのに入って見たら、内容的にはこちらはどこも面白かった。大国が産業技術を自慢しているのに、こちらは手作業の紹介が多かった。会場が広く、みなさん、よく歩き回ったようです。

夕方、順天（スンチョン）に行って、順天のサーバス会員と交流会を持った。25名も来られて、盛会になった。韓国側は若い人が多いですね。日本も、もっと若い人を入れて、韓国の若者たちとの交流を手助けしなければならぬと思いました。

夜はモーテル泊になりました。以前は旅館（ヨガン）が多かったのですが、それが現在ほとんどモーテルになったようです。あの逆さクラゲの温泉マークは韓国では旅館の印ですが、ほとんど見かけなくなっています。モーテルにはこの印は付けられないようです。昔の旅館は民宿みたいで良かったですね。現在のモーテルはラブホテルを兼ねているようです。

3日目、順天市にある楽安邑城民俗村に行きました。朝鮮時代の藁ぶき家の村を、人が住んだまま保存しているのです。韓流映画の好きな人にはたまらなかったようです。ここで王朝時代の映画は撮影されている訳で、映画のセット代わりでもあります。「あの場面はここで撮った」と判るわけです。私も「イ・サン」を見ていますが、3日前に主人公の俳優が撮影のために来たと案内人が言っていました。

そのあと、順天湾の干潟を見に行きました。諫早湾みたいに埋め立てられるところを、住民の反対運動で、保存されたところでした。木造の歩道が広い葦の湿原のなかを延びていました。ヨシヨシの音があちこちでしていました。水鳥たちは北帰行を済ませた後なので少なかったですが、少数のシラサギとアオサギの姿がありました。N夫妻は水路をめぐる船に乗られたようでした。

このあと3時間かけて釜山に戻り、レストランで釜山のメンバーと交流会になりました。総計35名ほどの盛会でしたが、バスの到着が遅れ、レストラン側が時間オーバーで立ち退きを要求、出し物の最中でしたが、打ち切りにせざるを得ませんでした。

韓国の人はとても人情が厚く、滞在中、役員の方には付ききりでお世話をいただきましたが、最後はこれだけの人が集まってくださいました。

交流会のあと、それぞれがホストの家に引き取られて行きましたが、私はCさんに引き取られ、釜山の西にある沙下区にあるマンションの17階のお宅に行きました。Cさんは若い実業家で、日本語のできる奥さんと大学1年生の長男を含め3人のお子さんがいました。

私が在来種のミツバチの研究をしていることなど話しがはずみ、床に着いたのは1時でした。翌日は、私に会わせたい人がいるとCさんが、ある人のところに連れていきました。その人は以前釜山地区のサーバスの会長を務めておられたKさんで、元数学の高校教師で、環境問題に関心の深い方でした。今後、環境問題で連絡を取り合うことを約束しました。私にとって思わぬ収穫

でした。

みなさんもそれぞれ、この度のホームステイでは忘れられない収穫があったと思います。ここが一番のサーバスのだいご味です。

## 何回行っても期待を裏切らない国

大分 K 会員

5月下旬の韓国はトラベラーにはベストシーズンでした。往復ともに、荒波で有名な玄界灘や対馬海域もことのほか穏やかで、入国も予定通り、出国も問題なく楽しい訪韓は終わってしまいました。

私にとっての韓国は、何回訪問しても期待を裏切らない国になってしまいました。今回は支部長さん初め、事務局の方、又韓国サーバスの方々のご尽力で、普段の旅では味わえないとてもすばらしい経験をさせていただけたことに感謝いたします。

通り一遍の観光旅行でしたら、思い出も薄っぺらになりがちですが、中身が濃かった今回の旅だけに、さび付いてしまってる私の脳みそも、心なしかリズムカルになってるような気がいたします。

帰ってから友人知人にヨスの万博や、スンチョンの干潟のお話をいたしましたら、大方の人がえっ！！そんなところで万博があつてるの？と驚いていましたし、スンチョンってどこのあたりなの？.....何でソウルに行かなかったのETC.....

私はサーバスに入会してるおかげで、ヨスやスンチョンのあのきれいな場所にいったし様々な思い出を重ねることができました。もしそうでなかったら、同じ韓国に何回行ったとしても多分訪れることはないでしょうヨスやスンチョン、素敵な場所だっただけに鬼から笑われるかもですが、来年のガーデニング博覧会にもぜひ行ってみたいなど友人と話しているところです。

かつては近くて遠い国といわれた韓国ですが、今は近くてさらに近くなった韓国、ますます交流を深め信頼関係を気づきあげていく為にも、ちょっと大げさかも知れませんが、草の根の交流の大切さをしみじみと感じたこのたびの訪韓でした。

最後に、訪韓のたびにお世話になったオムさんのご病気が、一日も早く良くなりますようにお祈りしています。

## 初めての訪韓、初めてのサーバスステイ

熊本 I 会員

(Husband 会員) 今回は訪韓が初めて、ホームステイが初めてと全てが初体験に近く、旅程ではいろいろとみなさんにご迷惑をかけたことをお詫びします。

外国の旅はいつもハプニングの連続ですが、今回はやはりホームステイ先で、言葉の問題で意思疎通が十分というわけにはいかなくて残念でしたが、それはそれとして楽しい思い出となりました。しかし、意思の疎通が不十分でもこれこそ民間外交なのだと思いつつ自己満足しながら、サーバスの仲間に入れていただいて、こういう経験ができたことを嬉しく思うとともに、若干早過ぎる嫌いはありますが、良い冥土への土産ができたように思います。

今回の一番の収穫は、3泊4日の旅で3つの韓国語を覚えたことでしょうか？

「アンニョンハセヨ」「アニョンヒケセヨ」「カムサムニダ」  
たった3文字(?)ですが、人生死ぬまで勉強ですね。(笑)

(Wife 会員) 26日のホストファミリーとの交流会の席で、私たちのホストファミリーが、日本語も英語も話せないと、知らせられて期待が一瞬にかき消され不安と絶望でいっぱいになりました(笑)が、ご主人が少し英語がお分かりになると誰からともなく伝わり気を取り直し、地上三階地下一階の豪邸?に案内されました。

奥様の表情からしてなぜだか強面のご主人を想像したのですが、現れたのはニコニコ笑顔の細身の優しいような男性。ほっと安心提供して頂いた一室は、バス、トイレ付の寝室でした。ベッドカバーや枕は日ごろ TV で観る韓国ドラマの中のそのものでした。床に敷かれたシーツの質感もテレビで捉えていた私の感覚とまったく同じであるのに改めてデジタルTVの威力を再認識した思いです。

翌日の朝食には奥様手製の漬物の種類が沢山出されました。

屋上の畑から採ってきたと言われる野菜があまりにも新鮮で、畑を見せて頂きたくお願いするとご夫婦とも快諾いただき三階まで案内していただきました。想像していたのとは裏腹に文字どりの猫の額ほどの畑でしたが、韓国ドラマでもよく見かける黒い甕がいくつも置いてありました。地下室にも同様な甕がいっぱい置いてあり、キムチ、赤シソの葉、など漬け込んでありました。中でも驚いたのは桜の花びらを漬け込んであったこと。奥様は大変器用な方と見えてお手製のポーチや室内履き数足などをお土産に用意してくださいました。おりしも私の00歳の誕生日をこのお宅で迎えることになり最高のプレゼントになりました。

翌日お別れ前に大学生のご息が現れてお互いに英語で会話のやり取りができました。ご夫婦とは言葉が通じ会わなかったけど、一生懸命に歓待しようとされるのが充分に感じられる今回のステイでした。

トイレ文化は別としていろんな所で日本の先を行ってる事を感じ取りました。そして、相互の理解を得るにはやはり自分の足で相手の国を訪ねることだということを感じました。

最後になりましたが、九州支部メンバー、釜山メンバーの皆さんに「カムサムニダ！」と申し上げ、結びとします。

## 韓国訪問

福岡 T 会員

H24 5/24 (木) ~ 5/27 (日) サーバス九州のメンバー 20 名が釜山、麗水 (ヨス)、順天 (スンジョン) を訪問しました。24 日 9 時に博多港国際ターミナル集合です。ここ 2 年ぐらい毎回会合に参加していますので皆さんとも顔なじみになり親しさも増し 3 泊 4 日の短い旅の始まりです。最初の日のホテルで菅さんのお友達の K さんが会いに来られていました。K さんは 6 年前ご主人と我が家に 1 泊された方でしたが、しばらく続いていたメールのやり取りも徐々になくなり、黙ってようかと思ったのですが、目が合ったので、“私の家に以前来られましたよね”と言いましたら、“T さんですか？”と言って抱きついてこられました。その日の夕方近くの高級レストランに招待してくださいました。K さんのクリスチャンネームは T さんでご主人は A さんといいます。また友情を復活させようと思います。サーバスっていいなあと思いました。

2 日目は麗水の万博見学です。人気のあるパビリオンはすごい列で時間的にも少しのパビリオンしか見ていませんがどのパビリオンも映像の迫力がすごかったです。Expo Digital Gallery, スイス館、Marine Life Pavilion, Ocean & Coast Best Practice Area 等 印象深かったです。順天でサーバスメンバーと夕食交流。

3 日目は順天の昔ながらの城壁に囲まれた城郭都市、樂安邑城 (ナガンウプ) 民族村に行きました。韓国のサーバスメンバーも参加。わらぶき屋根の家の一部には実際に人が住んでいました。時間があれば村中歩いてみたかったです。

釜山でサーバスメンバーと夕食交流。その夜は C さんの家でホームステイ。C さんの家は O さんの家の近くで、ダイヤモンドブリッジから見る夜景の美しさは絶景でわざわざ遠回りして見せてくださいました。翌日は車で近くの海産物の露天がたくさん出ているところに連れて行ってくださって、いりこ、干し海老、干物、ジンセンティーやキムチなどのお土産を買い予備のバッグが一杯になりました。そこで働いているのはほとんど女性で、しかもかなり年配の。韓国のパワ

一を感じました。

今回の旅行で韓国と韓国の人たちをととても身近に感ずることができました。政治的には難しい問題もありますが、一般の人同士仲良くしたいなあと思っていました。主人共々大変お世話になりました。

## 韓国旅行の思い出

佐賀 N 会員

支部長のお世話により念願の旅行が実現したことに先ずもってお礼申し上げます。何から何まで本当に行き届いており、プロのツアーコンも顔負けでした。お陰で私たちは安心して旅を楽しむことができました。

2 日目はデラックスバスで麗水に行き万博を見学しましたが、あまりにも広くてたくさんのパビリオンがあるため、どこに行ったが良いやら迷うほどでした。団体で入場した中では二番目のパビリオンの「イルカに乗った少年」の演技に魅了されました。

3 日目の順天も良かったですね。民俗村ではもっと長く過ごしたかったです。干潟の見学も良かったです。私どもは妻の体調を考えて皆さんと一緒に歩くことを控えましたが幸運なことに 30 分のクルーズに参加することができ、これまた楽しい思い出になりました。



3 日目の夜は、過去に我が家に二度ステイされた夫婦の家に泊ることができました。おいしい料理をつつきながら話に花が咲き、夜の更けるのに気付かないほどでした。スルさん、パクさんご夫妻は私たちを心から歓迎して下さい、別れがつかなくなりました。

サーバス九州による韓国訪問はこれで二度目だと思いますが、互いの交流を深める意味で素晴らしい試みです。来年は同じ順天で「国際ガーデニング祭り」が開かれますので再び計画しては如何でしょうか。喜んで参加したいです！

緒方支部長始め、参加されたすべての方々に今一度、感謝の言葉を申し上げます。本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。

## 2. 秋例会

### 11 月 17 日（土）18 日（日） 国東 仏の里

前号でお知らせしたとおり、今年度は訪韓を夏例会として位置づけ、サーバス九州としては「夏例会」は行いません。

秋例会は昨年好評だった大分県国東半島で行います。昨年とはまた、違ったコースを訪問する予定です。今回も他支部への呼びかけを行います。おしゃべりをしながらウォーキングし、歴史探索・脳活性化がはかれたらいいですね。今からスケジュール調整をどうぞ！

詳しい日程はもうしばらくしてから提示いたします。  
大分の M 会員、O 会員にはまたお世話になります。よろしく願いたします。

### 3. 会員現況

サーバス九州現況：会員数 57（家族）

<内訳 大分 15、熊本 6、佐賀 4、長崎 7、福岡 12、宮崎 13>

### 4. サーバス九州から 3点

- 1 訪韓費用としてお預かりした5万円のうち残額が出ましたので、船中で一人、2千円をお返し、残りを日本サーバスの被災者支援プロジェクトに寄付をすることを申し合わせました。円高や今回参加されなかったKさんからの韓国への手土産用の寄付（木彫の器類、非常に喜んでいただきました！）そして、費用を預かった担当者二人の主婦感覚のちょっとした節約努力の積み重ねが功を奏し、5万円を九州支部として「被災者支援プロジェクト」にお送りいたします。
- 2 日本サーバスのホームページをご覧ください。  
宮崎のN会員が日本サーバスのIT委員長で、ホームページの管理をされています。このごろ書き込みが少ないとさびしがっておいでです。ぜひ、訪問し、書き込みもお願いします。
- 3 電子版のホストリストを出している国も直接トラベラーに貸し出すことを禁止している国がかなりあります。必要なページをプリントアウトして、必ず紙の形で貸し出すようになっています。ホストリストは本部から一般会員への直接貸し出しはされていません。  
\*支部長を通しての貸し出しです。余裕をもって申し込んでください。支部会議での申し合わせ通り送料が100円を越えそうな場合は着払でお送りいたします。そして、2週間内にはお返してください。その場合は送料をご負担ください。よろしく願いいたします。（担当者も最近はよく外に出ていますので、緊急な依頼に対応が出来かねる場合がありますので、早めの申し込みをお願いしております。）